

# 地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈8月末現在〉

農業▷8人 教育魅力化▷2人 観光▷1人  
起業型▷9人 協働型▷5人 スポーツ▷1人

観光支援員

たかはし  
高橋 ゆいさん

着任：令和7年5月（1年目）  
出身：札幌市



## —これまでの経歴について教えてください。

東京の大学に進学し卒業後はM&Aのコンサルタント会社に入社しましたが、理想と現実のギャップに悩み、心身の不調で半年ほどで休職しました。休職中にアメリカ、メキシコ、ヨーロッパ、アジアなどを巡る旅へ出ました。旅の途中で退職を決意し、多拠点生活を実践してきました。その中で縁があって新潟県の佐渡島で、クラフトビールの醸造所の立ち上げなどに携わってきました。

## —厚真町に来たきっかけは？

醸造所の立ち上げや地域イベントに携わる中で、事業への魅力もさることながら「人と土地の関係性」に強くひかれるようになり、地域との関わりを深めるようになりました。そのような時に知人に誘われて厚真町を訪れ、厚真で出会った人たちや町の空気感、先輩起業家たちの意欲と情熱に強く心を動かされました。何度か通ううちに、気づいたら「ここで生きてみたい」と思いました。

## —現在は厚真町でどんな活動をしていますか？

現在は、厚真町がどんな町でどのような取り組みをしているのか、町を知る勉強をしています。私はいろいろなルーツを探ることが大好きです。例えば旅や食、人との出会いを通じて、その土地の背景や物語に触れることで、より深い地域との関係性が築けると信じています。最近では、地域体験や研修プログラムの企画・運営を始めたところで、試行錯誤しながら少しずつ活動の幅を広げています。佐渡島での経験を生かし、二地域居住という新しいライフスタイルの提案にも力を入れていきます。

## —今後の目標を教えてください。

観光というより“交流”を通して、人と地域を結び、厚真のファンを増やすような仕事がしたいと考えています。新しい形の地域との関わり方をつくっていかれたらと思っています。キーワードは“交流”や“共創”です。単なる観光ではなく、厚真でしかできない体験型のプログラムを展開していきたいです。厚真の人の魅力、風景、食、営み。訪れる人たちと一緒に、日常の中にある豊かさが共有できる場をつくりたいです。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報はじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



発表します！  
**将来の夢**

厚真中央小学校6年

はるさん

くらのすけさん

たくまさん

あんなさん

めいさん

弁護士

漢検1級合格

農家

トリマー

さし絵画家